

I 児童・生徒の課題

	学力状況について	学習状況について
児童の課題	○「1月実施学力調査」の結果 ・1～6年生の18教科中、半分の教科で全国正答率を上回った。 ○課題 ・国語では、文章の内容や構成を捉えること、漢字の定着不足。 ・算数では、「数と計算」と「図形」の内容の定着不足。 ・社会・理科では、知識の定着不足。	○学校独自のアンケートの肯定的な回答をした児童 ・「勉強がわかる」93%、「自分から宿題をしている」85%、「説明ができる」78%、「理由のわかる文に線を引く」85%、「考えや感想を書く」96%。

II 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

国語・社会・算数・理科において、単元末テストの「思考・判断・表現」の観点における正答率6割未満20%以下
--

III 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	自学力＝自立学習力(自己理解・自己判断・自己表現)力の追求と育成
----------	----------------------------------

②授業改善の重点	伝え合う力を高める言語活動・ICT活用を工夫した授業の実施
----------	-------------------------------

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	・目的意識を明確にし、単元の見通しを持たせた言語活動をおこなう。 ・情報を調べ、共有させるため、ICTを活用する。	・授業者は、国語の説明文や物語文の単元において、自分の考えの理由や根拠を持って説明や表現をさせる場を単元に1回以上設定する。 ・授業者は、ICTを活用した学習の場を単元に1回以上設定する。	アンケート(7月実施)「説明ができる」「理由のわかる文に線を引く」「考えや感想を書く」に肯定的な回答をした児童の割合を80%以上にする。 ・アンケート(追加項目)「NHK for Schoolやタブレットを使って授業がわかった」に肯定的な回答をした児童の割合を80%以上にする。	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

IV 学習定着状況の把握とフォローの取組 および 個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はブルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	・担任や副担任は、放課後学習を実施し、基礎的基本的な内容や苦手分野を克服できるような学習に取り組む。	・担任や副担任は、週3～4回25分以上の時間を確保し、基礎的基本的な内容や苦手分野の復習に取り組ませ、定着を図る。	
2学期			
3学期			

◎＝達成(10割以上)、○＝概ね達成(8割以上)、△＝やや未達成(6割以上)、×＝未達成(6割未満)

V 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はブルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	1学期	2学期	3学期
家庭	・進んで宿題をさせる。 ・わからないところを教える。	・育友会は、学期に1回「宿題忘れ0(ゼロ)特設ウィーク」を設定する。 ・保護者は、毎週末の「ばっちりプリント」へのサインをし、学習状況の把握をおこなう。			
地域	・ふるさと学習の時間への参画	・CS各部は、授業・体験活動・探究活動等を企画・支援をおこなう。			

◎＝達成(10割以上)、○＝概ね達成(8割以上)、△＝やや未達成(6割以上)、×＝未達成(6割未満)

VI 令和3年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和3年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1～4で入力(達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)

※ブルダウンで数値を選択

2 取組指標

①「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 人	授業を公開した教員の割合	
		8月末時点 %	11月末時点 %

※割合(%)は四捨五入して整数表示

②管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、若手教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期
	※ブルダウンで○、×を選択		

③計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期
	※ブルダウンで○、×を選択		